

天王寺動物園の概要及び101計画について



天王寺動物園

- ・大正4(1915)年設立
- ・都会のど真ん中の立地
- ・あべの・天王寺の賑わいの一角
- ・敷地は11ha

新世界



四天王寺



茶臼山



大阪市美術館



JR天王寺駅



Q's モール



あべのハルカス



天王寺動物園の動物たち

- 約180種約1000点
- 北園には、アフリカサバンナゾーン(ライオン、キリン、シマウマ、クロサイ、カバなど)、ジャガー、トラ、オオカミ、ふれあい広場など
- 南園には、アジアの熱帯雨林(今はゾウはいない)、ホッキョクグマ、チンパンジー、コアラ、鳥の楽園など
- 人気投票をすると、ホッキョクグマとトラが1位を争う



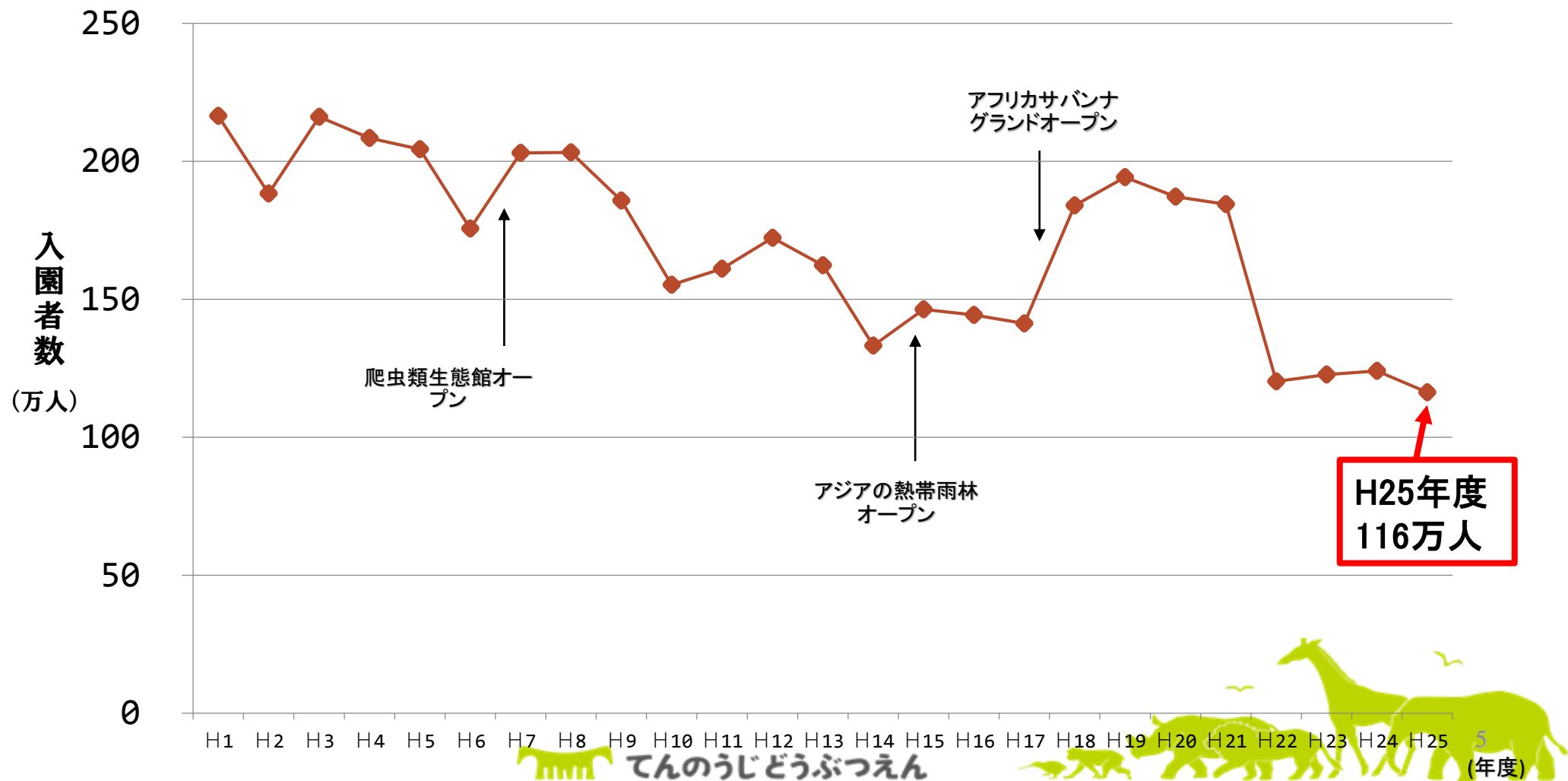
101計画（策定経緯）



入園者数の推移

入園者数は、全国的な傾向と同様に減少しており、かつその落ち込みは顕著でH25には116万人となった。

年度毎の来園者数の推移



天王寺動物園の課題と対応

H25.8市職員チームによる検討結果より

(課題)

- **利用者目線の欠如**
- 老朽施設と硬直経営
- 専門機能の低下

(対応)

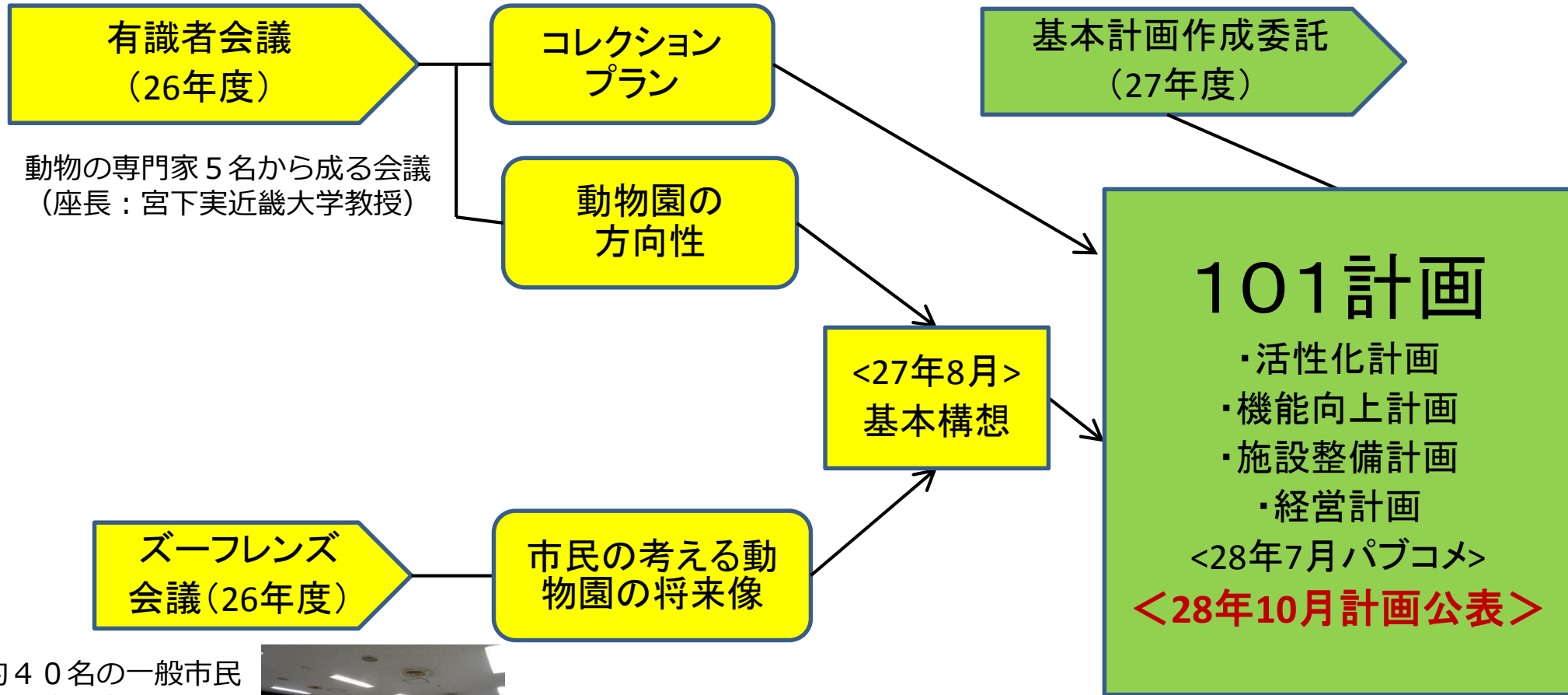
- **新たな戦略の再構築が必要**
- **ZOO21計画をリセットし、新たな基本計画を策定する必要がある**
- **目の前のお客様サービスを格段に向上させる必要がある**



- **改革担当部長ポストの設置 & 公募→H26.7着任**



101計画策定の流れ



約40名の一般市民
から成る会議
(ファシリテータ：
石川靖之氏)



コレクションプラン(H27)のポイント

- 人気種の中でも、推進する種と撤退する種を選別
→ 推進: アジアゾウ、ホッキョクグマなど
撤退: コアラ、オランウータンなど
- 日本産の野生種を強化(ナベヅル、コウベモグラ、ニホンイノシシなど)
- 近縁種は種を絞る(ペンギン、野生イヌ類など)
- ふれあいコーナーへの対応(モルモット、家畜種など)
- 繁殖実績のある種の推進(アシカ、ツル類など)
- 国内繁殖計画への貢献(シシオザル、ヨウスコウワニなど)



基本構想(H27): 果たすべき機能・役割

1. 近距離レジャーとしての機能

- ・魅力的な展示
- ・ワクワク感
- ・癒し
- ・良質なサービス

2. 社会教育施設としての機能

- ・知的好奇心を刺激
- ・教育機関による利用
- ・ふれあいサービス

3. 都市魅力創造機能

- ・賑わいを創出
- ・周辺エリアと協働
- ・海外客への対応

動物飼育展示
その他サービス

4. 安定運営するための基盤や専門能力の確保

- ・技術やインフラの確保維持
- ・繁殖協力
- ・学術機関との連携



天王寺動物園 101計画(H28)

- 平成28年10月、ZOO21計画(平成7年)に替わる新たな中長期計画として策定
- 101年目は次の100年のスタート→101計画と命名
- サブタイトルは、「おもしろい・あきない・みんなの動物園を目指して」
- 動物の野生の行動を引き出す「進化型生態展示」の施設を整備する20年計画
- 施設整備計画だけでなく、ソフト面の実施計画も記載
- レジャー的な機能だけでなく、社会教育の機能を重視

今後、101計画を実行に移し、
公立動物園としての安定的・発展的な経営を目指す

展示方法の変遷

＜分類学的展示＞

系統分類の近い動物を並べて比較展示
主にコンクリートと檻の展示
管理しやすいが動物に優しくない



サルヒビ舎(天王寺)



アフリカサバンナゾーン(天王寺)

＜生態的展示＞ (ZOO21計画;1995)

極力柵を無くして、生息地を再現
緑と土が多く、動物にも優しい
動物が遠く見えにくいのが弱点



＜行動展示;2000年代～＞

旭山動物園がブレイクした要因
動物の行動を引き出すことを重視
ただし、見かけは人工的

ヒョウを下から覗ける
施設(旭山)



チンパンジーの三次元の行動
を引き出すタワー(旭山)

＜進化型生態的展示＞ (101計画;2016)

動物の行動を引き出し、近くで見せること
で生態的展示を進化させる
→生態的展示と行動展示のいいとこどり

フンボルトペンギンの生息地(チリ)をイメージできる展示



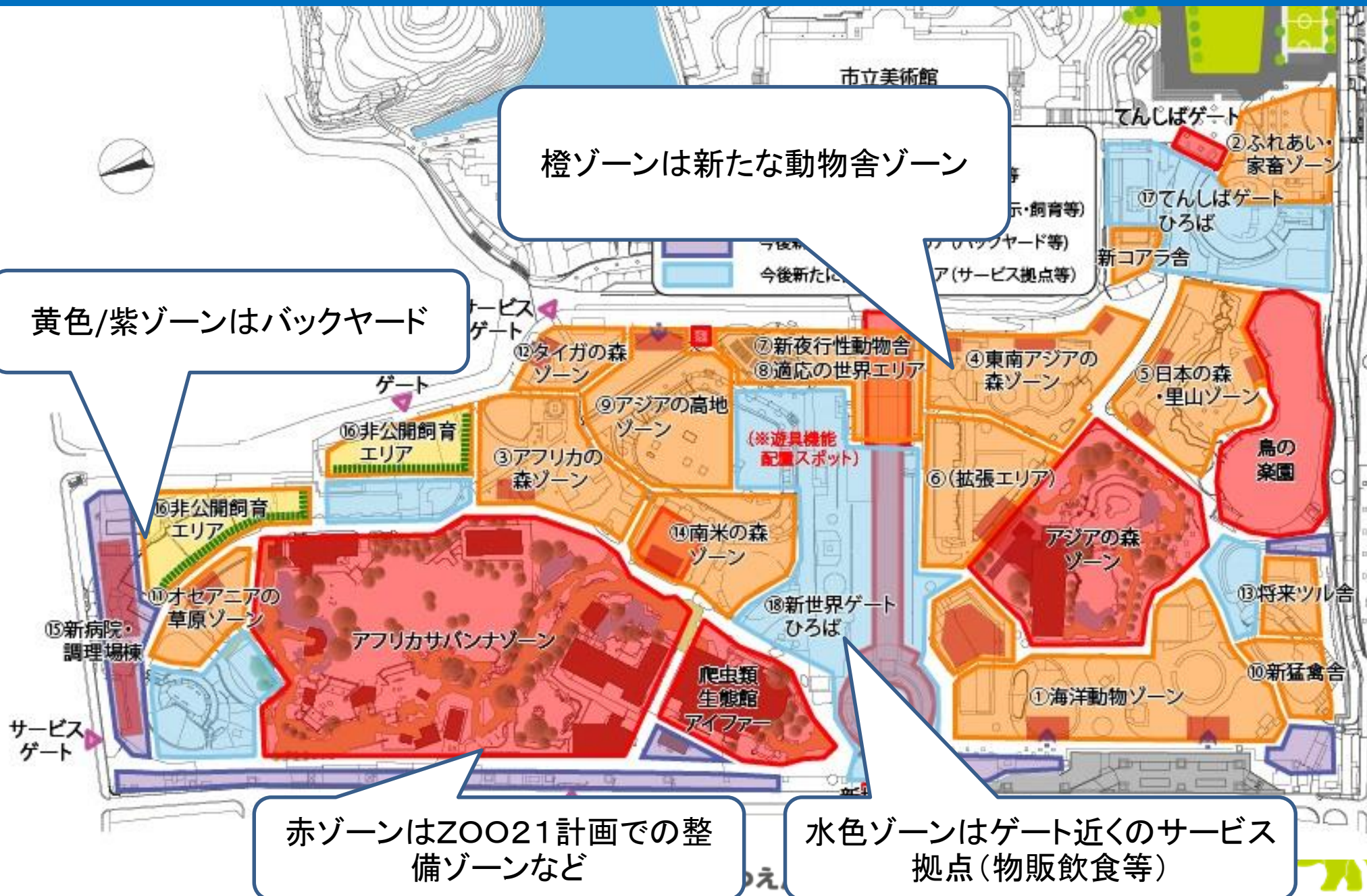
ペンギンの水中での行動を
引き出す展示

101計画の構成

- 活性化計画
 - 魅力あるコンテンツの開発と発信
→ 展示、イベント、プロモーション
 - 顧客視点からの魅力向上策の展開
→ ワクワク感、快適さ、魅力的な飲食物販、年パス、インバウンド対応
 - 外部との連携・協働による動物園の活性化
→ ボランティア、個人や企業からの寄付
- 機能向上計画
 - 飼育管理機能の向上
→ 技術力向上、繁殖、動物福祉、生物多様性保全
 - 社会教育機能の向上
→ 環境教育や命の教育、学校との連携
 - 調査研究機能の向上
→ 大学との連携、動物園独自の研究
- 施設整備計画
 - 新たなゾーニング、20年85億円の投資
- 経営計画 → 収支改善、経営形態検討



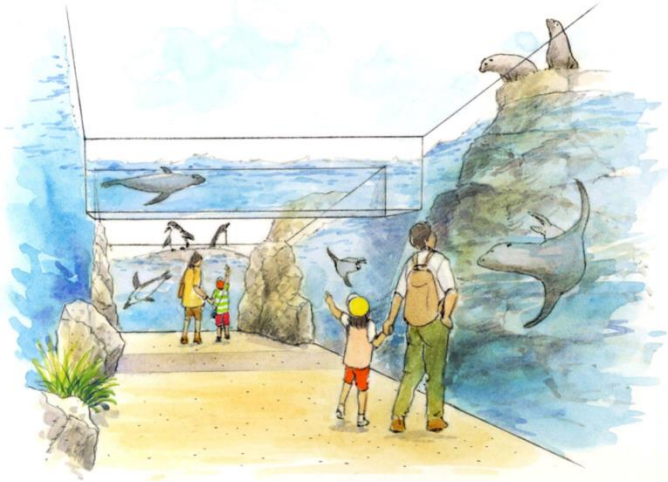
101計画施設整備計画 ゾーニング



施設整備計画（主なゾーンのハイライト）

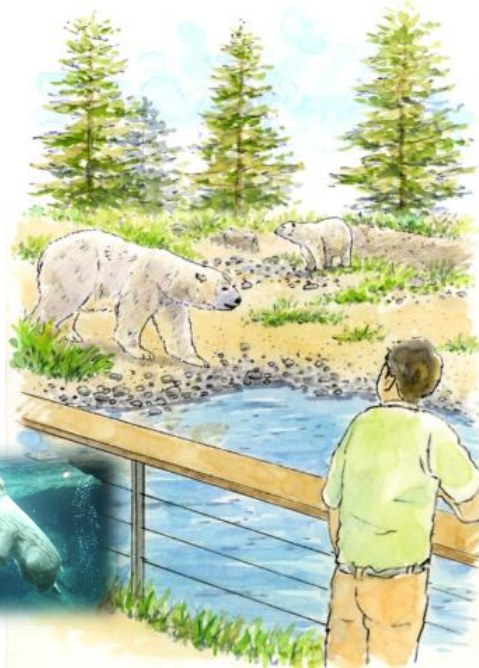
① 海洋動物ゾーン

人気動物（ペンギン、アシカ、ホッキョクグマ）の動きを見せる目玉ゾーン。
極地ペンギンのリストラや水の管理施設の
集約によりコストダウンを図る。



④ 東南アジアの森ゾーン

樹上を活発に動くテナガザル
等を展示



⑥ アフリカの森ゾーン

群れで生きるチンパンジーの高い知性や
社会性を学ぶことのできる展示



天王寺動物園101計画アクションプラン

『天王寺動物園101計画』(H28.10月策定)に記載した各取組項目について、令和元年度までの約4年間を目途に着実に推進していくための具体的な行動計画として『天王寺動物園101計画アクションプラン』を策定(H29.3月)。

(※20年間の長期計画に沿って進める施設整備計画については除外)



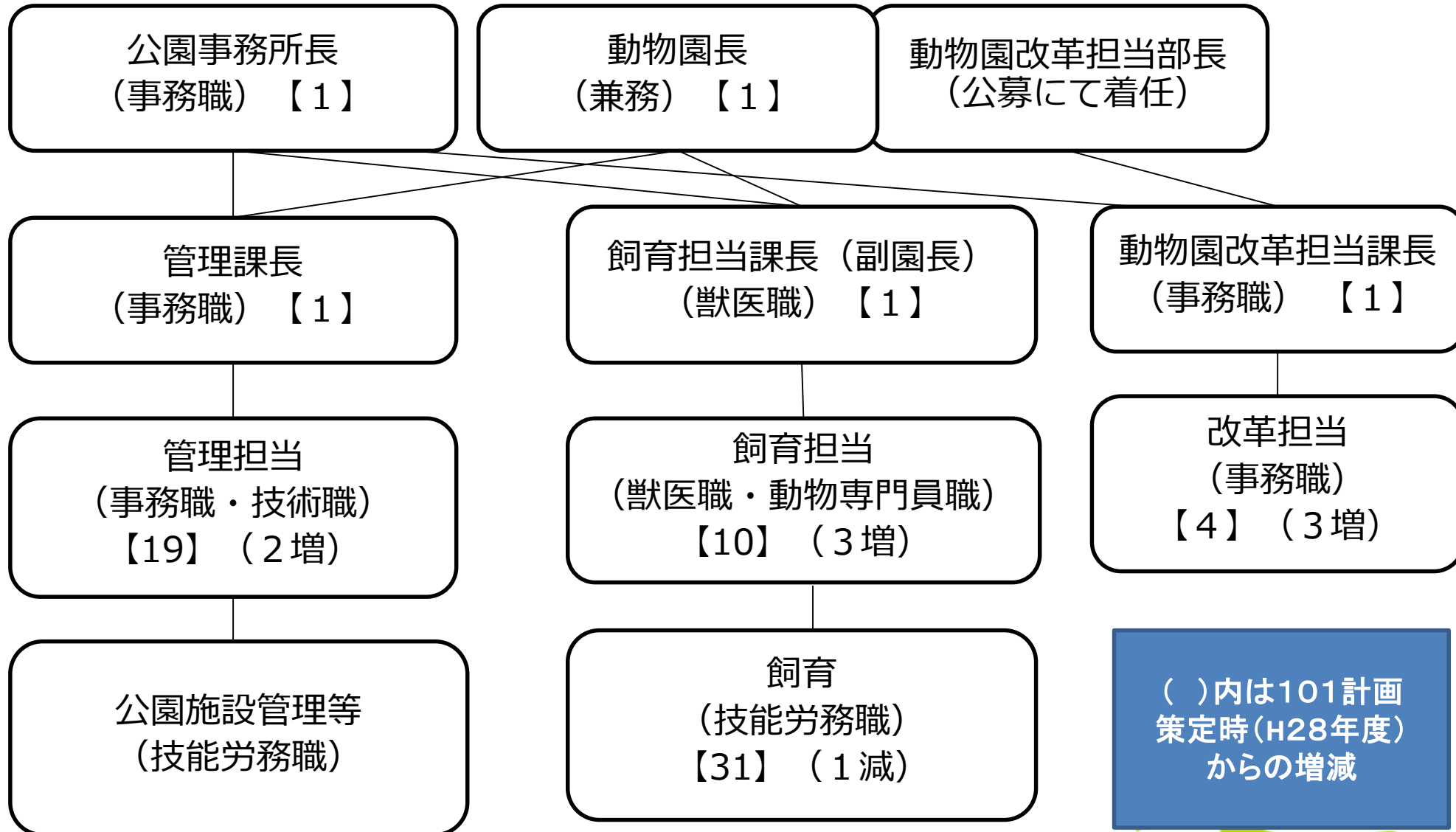
本アクションプランに基づき、天王寺動物園の改善の取組みを着実に進めていく



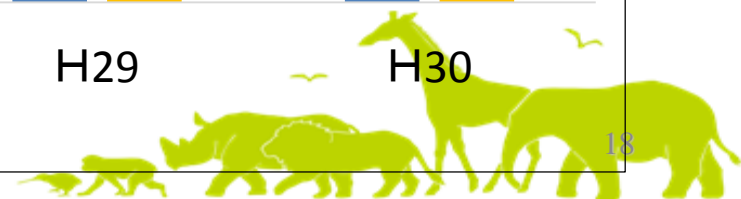
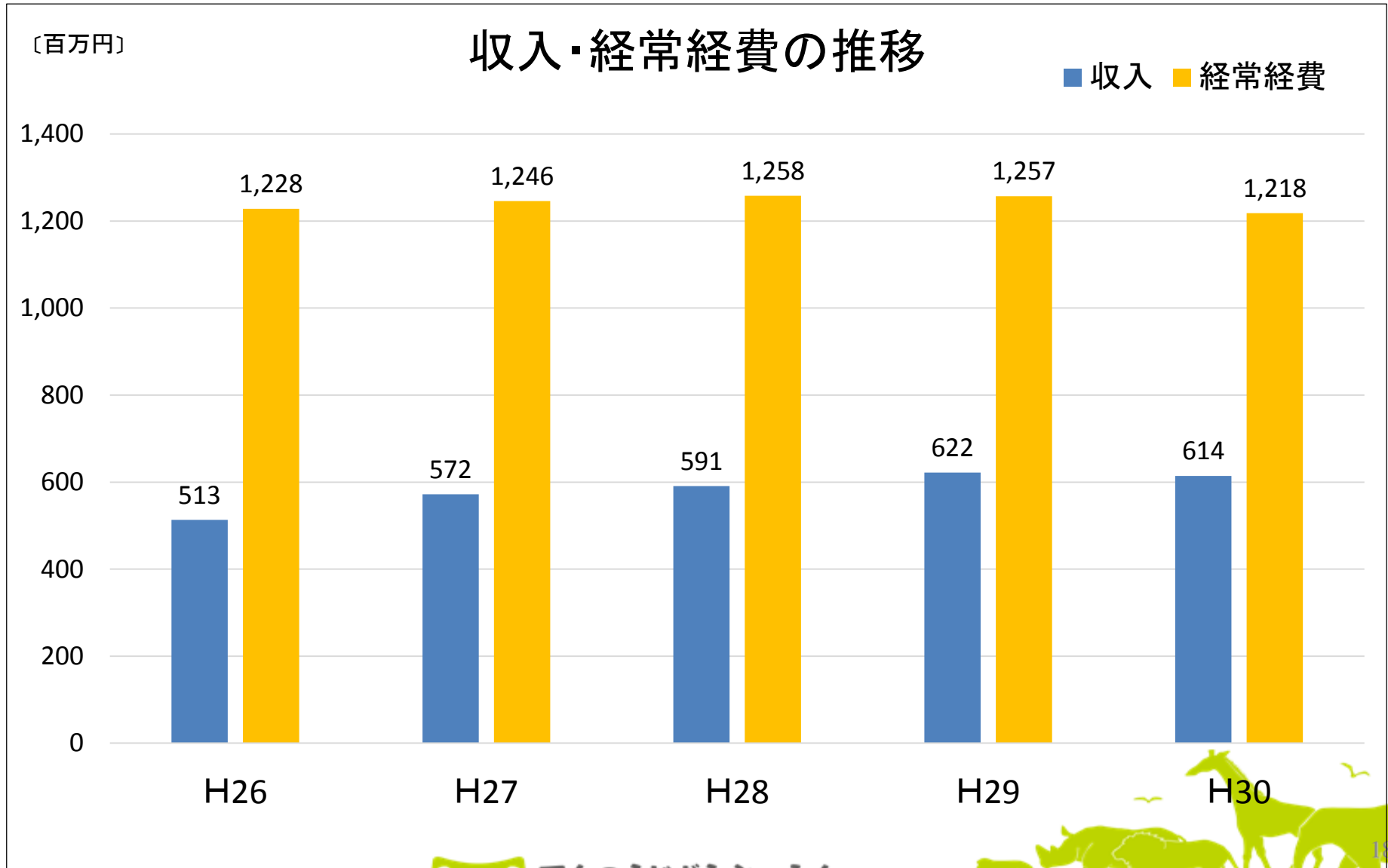
天王寺動物園の概況



天王寺動物園の組織



収支状況



主な飼育動物の状況と展望

- ホッキョクグマ
♀1を飼育していたが、H30.12に他園にBLで出ていた♂1が帰還。このペアで繁殖を目指す。
- アジアゾウ
H30.1にラニー博子が死亡して以来、ゾウが不在。現在導入に向けて各方面との交渉・調整中。
- キリン
♂1♀1を飼育。このペアで繁殖を目指す。♀の出産が近いと思われる。
- クロサイ
♂1♀1を飼育。このペアで繁殖を目指す。
- カバ
♂1♀1を飼育していたが、H29.4に若い♂を導入。
- コアラ
コレクション計画(H27)で「撤退種」として位置付け、最後の1頭を英国に搬出(R1.10)
- シマウマ
♂1が動物間の闘争により急死(R1.9)し、現在はシマウマが不在。後継個体の導入が必要。
- チンパンジー
♂2♀4を飼育。新施設(アフリカの森)の計画はあるが、目途が立つまでは現状維持。
- シシオザル
H30-31にかけて♂2♀1を導入し繁殖を目指す。東南アジアの森(現コアラ舎跡)の飼育種の予定。
- ライオン
♂1♀2を飼育。当面現状維持していく。
- トラ
♂2を飼育していたが♂1頭が急死(R1.9)。後継個体の導入が必要。
- ジャガー
♀1を飼育していたが、♂を上海より導入(R1.7)し、新しいペアで繁殖を目指す。
- ペンギン
新施設はフンボルトペンギンに絞る予定で、フンボルトの繁殖を推進(H31に4羽繁殖)。



組織的な飼育動物コレクションとの連携

(公社)日本動物園水族館協会の種保存事業との連携

当園が飼育している該当種

種保存事業優先種に
指定されている種類

種保存事業優先種(亜種)

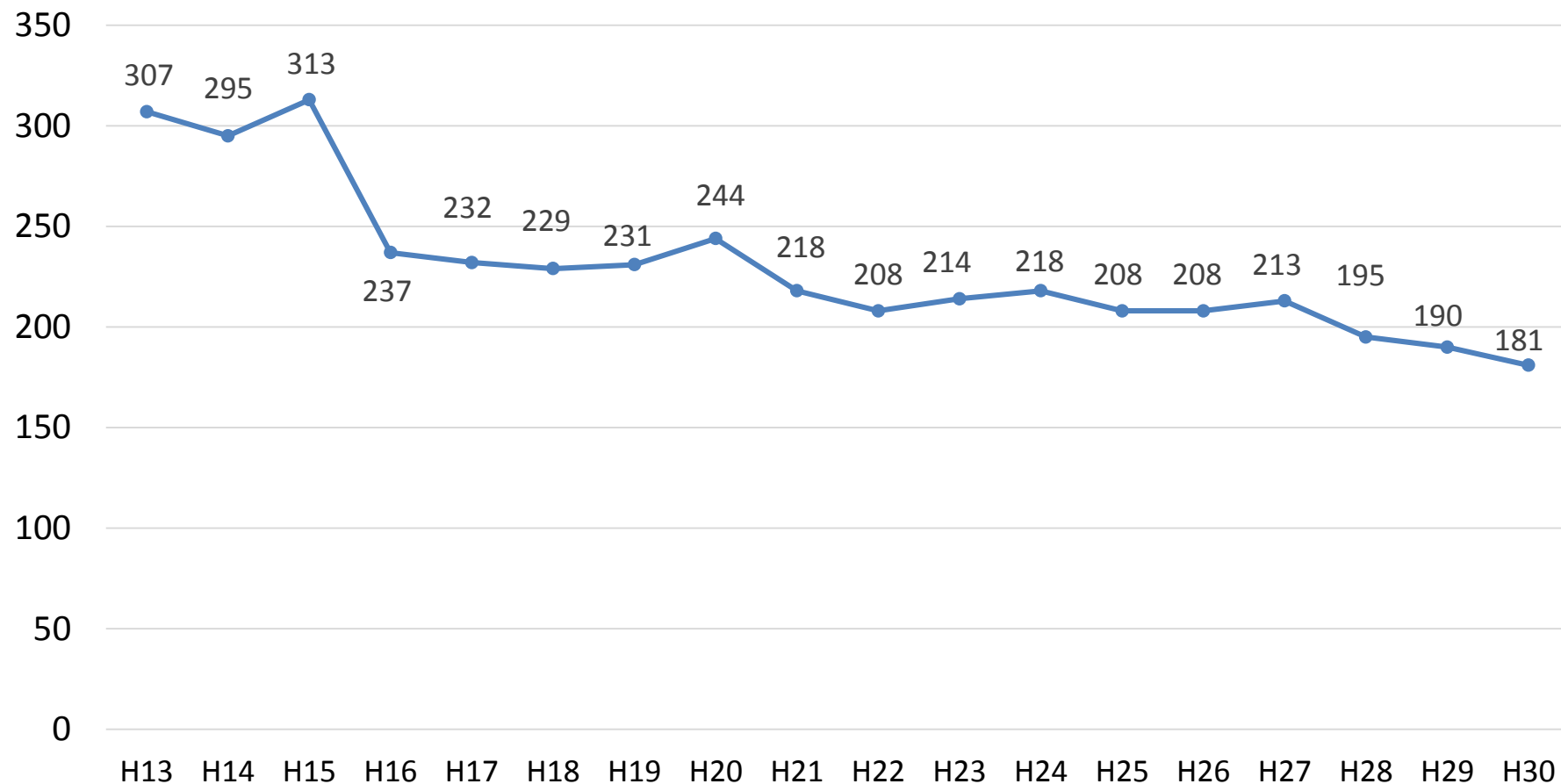
| | |
|-----|-------|
| 哺乳類 | 82 |
| 鳥類 | 51 |
| 爬虫類 | 15 |
| 両生類 | 1 |
| 魚類 | 18 |
| 〈合計 | 167種〉 |

- ・フサオネズミカンガルー
- ・チンパンジー
- ・フクロテナガザル
- ・シシオザル
- ・フランソワルトン
- ・マンドリル
- ・エリマキキツネザル
- ・レッサースローロリス
- ・ホッキョクグマ
- ・マレーグマ
- ・アムールトラ
- ・シセンレッサーパンダ
- ・オオカミ
- ・ジャガー
- ・カリフォルニアアシカ
- ・クロサイ
- ・キリン
- ・カバ
- ・アンデスコンドル
- ・オジロワシ
- ・ニホンイヌワシ
- ・オオタカ
- ・フンボルトペンギン
- ・オウサマペンギン
- ・ニホンコウノトリ
- ・ナベヅル
- ・ニジキジ
- ・オオサンショウウオ
- ・ホウシャガメ
- ・ヨウスコウワニ

ほか 計40種

天王寺動物園の飼育種数推移

(単位:種)



注:各年3月31日時点のデータ



各種の改善活動



ナイトズー(H27.8～)



テンジクネズミふれあい施設を新設(H27.10～)



健康管理のためのトレーニング(H28～)



大型動物解説版の設置(H29.8～)



ロシアよりホッキョクグマ・導入(H27.3)



メキシコよりカバ導入(H29.4)



外部との協力によるワークショップ(H29.4)



動物教育キットの貸出(H30.4～)



ドイツよりククロサイ・導入(H27.6)



ドリームデイ(障害者向け開園)(H30.3～)



海洋堂コラボフィギュア販売(H30.9～)



府大との研究協力協定(H29.3～)

各種の改善活動



年間パスポート(H29.4~)



新ホームページ(H28.3~)



新しい寄付の仕組み:
プチ応援団(H29.4~)



新ユニフォーム
(H27.11~)



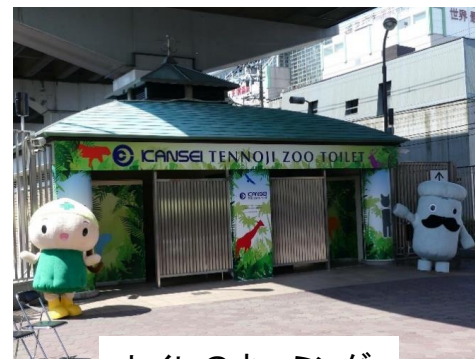
大阪ガスからガス管
の寄付(H30.2)



園内の動物型案内版(28.3)



キッズトイレの整備(H27)



トイレのネーミング
ライツ(H29.8~)



園内の集中的な美装化(H27)



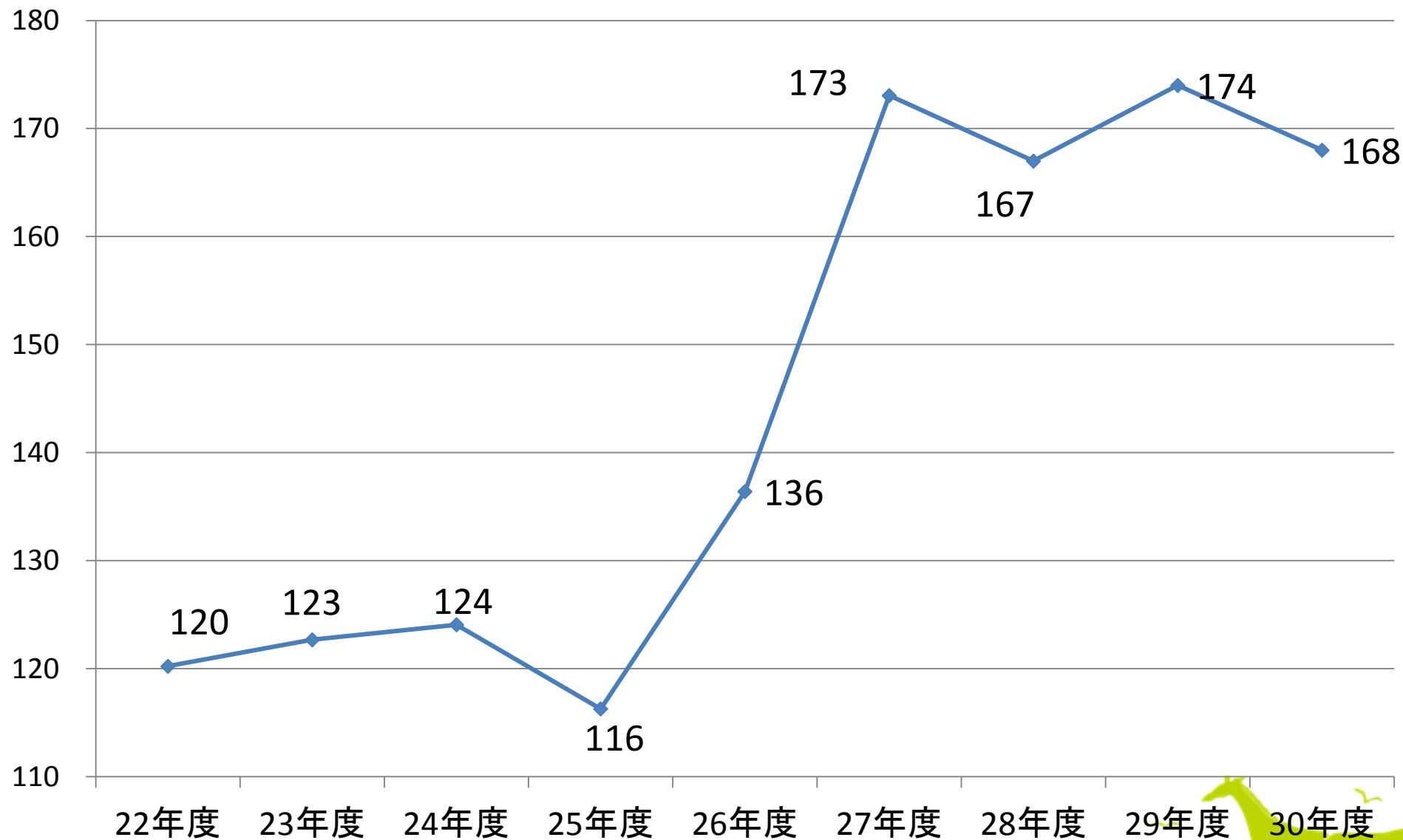
凸凹のサバンナ園路を整備(H30.3)



新世界ゲートに大型
動物絵を設置(H30.3)

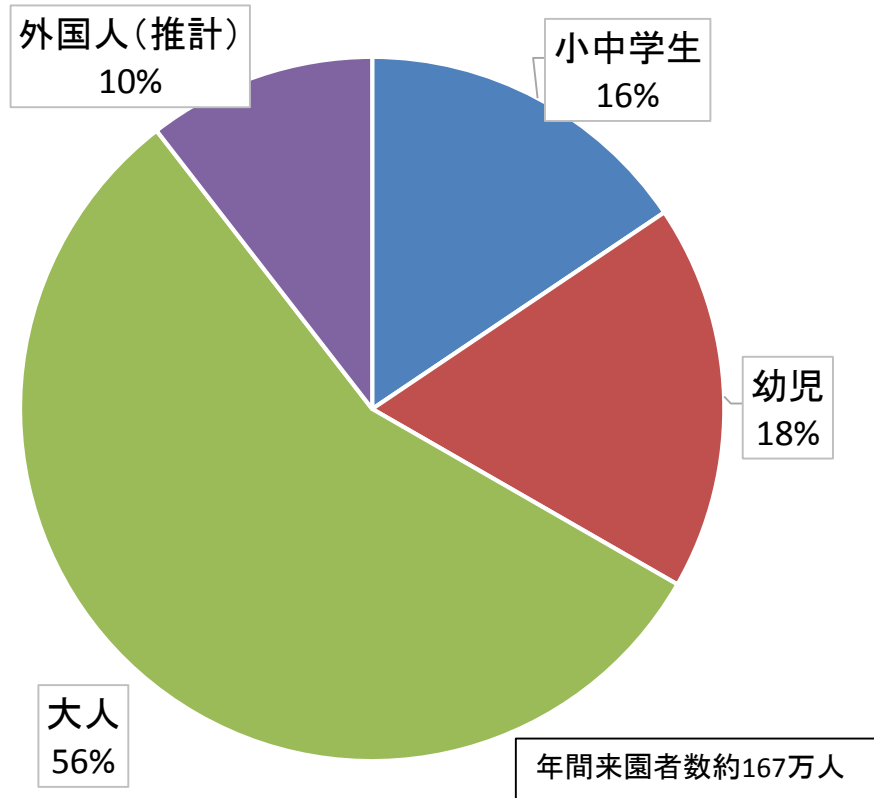
年間来園者数の推移

(万人)



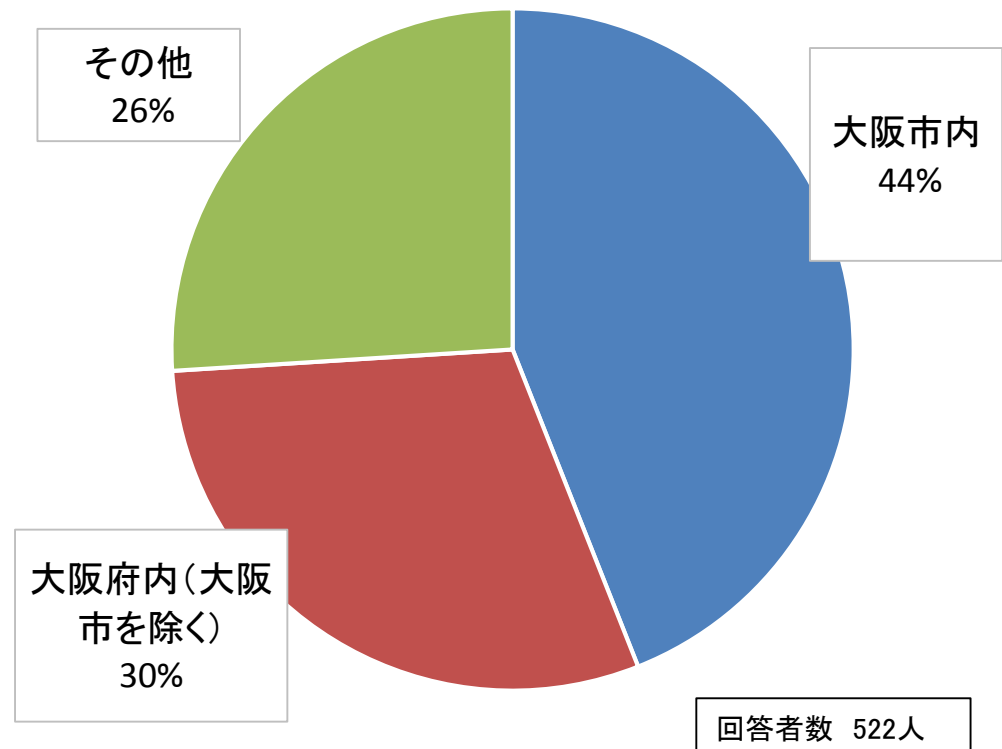
来園者の属性

来園者の構成 (平成28年度)



注：
免除団体は小中学生に、身障者手帳による入園者は大人に入れている。
外国人については、周遊パス入園者数×1.4で推計したもの。

来園者の居住地 (平成29年アンケートより)



注：平成29年度実施のアンケート調査にかかる集計結果。



天王寺動物園での教育活動の展望

- 依頼に応じて各種プログラムを実施
- 2017年度に学習指導要領を踏まえた教育プログラムをいくつか開発
- 園としての教育ポリシー文書を策定・公表(2018.8)
- 新たな教育活動拠点の設置
⇒2020年度の完成を目指す
- 教育部門の組織体制の強化
⇒今後の課題



天王寺動物園ディスカバープログラム

| プログラム | 内容 | 受入人数 | 所要時間 |
|---------------|---|-------|--------|
| ズー・スクール | <p>レクチャールームでスライドやビデオ等を使用した講話。</p> <p>《テーマ》 動物のエサとウンチ／動物園の歴史と役割／絶滅の危機にある動物たち／外来生物の脅威／生物多様性／戦時中の動物園／動物園の獣医さん／動物園の仕事</p> | 80名以内 | 40～60分 |
| ガイドウォーク | 園内を一緒に歩きながら動物の解説やみどころのガイド。 | 30名以内 | 50～90分 |
| 動物 ショートガイド | 動物舎前で動物の特徴やエサについて説明。 | 30名以内 | 20分以内 |
| 職場紹介 | <p>動物園職員の仕事内容や動物園の概要などを説明し、インタビュー形式で回答。</p> <p>※学校単位での申込</p> | 20名程度 | 30～60分 |
| 職業体験 | <p>1日完結の飼育体験。</p> <p>※中学校・高校の学校単位での申込</p> | 6名／日 | |
| 出張スクール | 大阪市内の希望の会場に向いての講話。(テーマはズー・スクールと同じ) | 制限なし | 40～60分 |
| 標本貸出 | <p>頭骨(ライオン、シマウマ、キリン)</p> <p>糞(アムールトラ、シマウマなど全8種)</p> | — | — |



プログラム開発 (H29年度) →教材貸出

教育プログラム

《テーマ》

- ・こんにちは、あかちゃん (低学年・生活科)
- ・骨と関節 (中学年・理科)
- ・命のつながり (高学年・理科)
- ・生きものの仲間わけ(分類) (中学生・理科)

《貸出内容》

プログラム＋ハンズオンキット

＋実施用テキスト＋ワークシート(※希望者のみ)



当園が力を入れていくテーマ (天王寺動物園教育ポリシー(H30.8))

- 生物多様性保全教育・環境教育
 - 野生動物の絶滅や個体減少と保全の取り組み
 - 地球温暖化など地球規模の環境問題
- 命の教育
 - 生きものの温かさや命の尊さ
 - 生と死、他の生きものの命によって生かされている
- ESD (Education for Sustainable Development)
 - 国際理解教育
 - 平和教育



動物関連の事故・急死



9月 シマウマがオスのエランドとの闘争で死亡



9月 アムールトラ・虎二郎が急死



9月 アシカが排水溝から下水管へ逃走→5日後に発見・捕獲



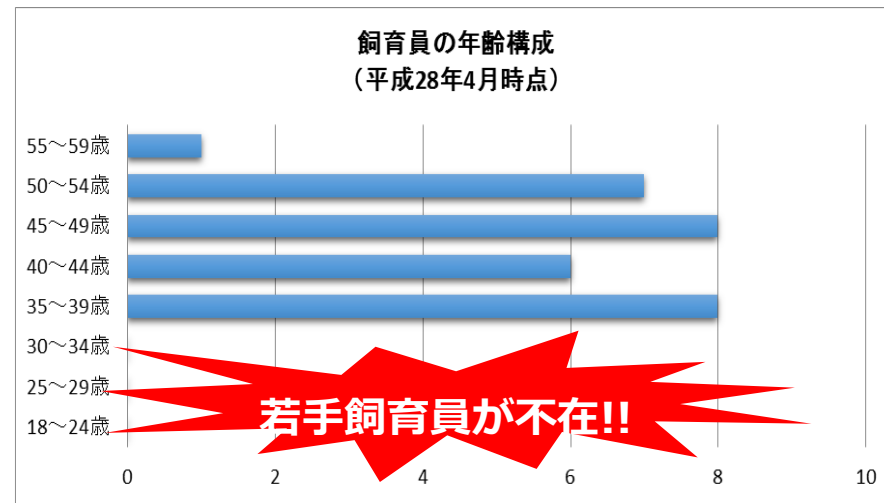
11月 ワライカワセミが逃走→翌日捕獲



飼育マニュアルを順次策定、施設点検体制の強化

動物園の組織改革

- 動物専門員
新たな職種として動物専門員を採用(2019.4~)
→飼育技術レベル向上と教育活動・国際活動の強化を目指す



- 動物園にふさわしい経営形態の検討
→2018年8月 有識者会議より地方独法が最も適切な経営形態だとする報告
→2020年1月29日 大阪市戦略会議で天王寺動物園の経営形態を地方独立行政法人に変更すること(令和3年4月1日法人設立)を決定

